

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	れいるu		
○保護者評価実施期間	令和8年2月4日		令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和8年2月4日		令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動プログラムを固定化にならないよう考えて提供している。	1カ月ごとに毎日の集団活動の内容を考えている。 運動、制作、調理、外出の大枠を基本にし、個々のニーズに合わせて活動を行っている。 季節や行事を意識できる内容を組み込んで、感性や創造性の充実を助けている。	新たな情報も集め、現状に満足せず、本人やご家族の考え、職員の思いも考慮し、活動内容を向上させていく。
2	社会資源の活用を積極的に行っている。	日々の活動で、スーパーでの買い物体験や地域のゴミ拾いを実施している。 長期休業日(夏休みなど)には、図書館や公園などの公共の施設を利用し、電車乗車体験や外食など、社会性やコミュニケーション力を広げる機会を作っている。	新たな情報も集め、現状に満足せず、本人やご家族の考え、職員の思いも考慮し、活動内容を向上させていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わる機会が少ない。	利用児の特性に配慮が必要で、地域側の理解を促しつつ関わる機会を調整するための余力が持てない。	構造的に連携が取れるように、対面式だけでなく、関わる方法を模索する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	れいるu						公表日	令和8年3月13日		
						利用児童数	19名	回収数	15名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1				限りあるスペースを有効的に使用し、安全に過ごせるように環境を作っています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15							
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15							
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15							
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15				楽しい企画をいつも実行して頂きありがたいです。	季節が意識できる内容、室内外での活動別けを考えながらプログラムを作成しています。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12		1	2		近隣公園等での場の共有など、子ども達の負担にならない交流から広げられればと考えています。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15							
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15							
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	12	1	1	1		父母の会の開催はありませんが、お子さんの年代別の保護者の方の交流を目的として茶話会の開催を行いました。その他の交流会も、今後企画していきたいと考えています。		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				ども職員の方にも信頼を抱いている様子です。	ありがとうございます！
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15				月のカレンダーを見て、日々の活動を楽しみにしている様子です。 週末も「れいる？」と聞いてくくらい行きたいと思っています。	期待に応えられるよう努力します！
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				子どもを飽きさせない様、いろんな活動を組み込んでいただき、また様々な体験をさせていただけることにも大変満足しています。	引き続き、ご意見を聞かせていただき対応していきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		れいるu				公表日	令和8年 3月 13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		但し、曜日によってはマンツーマンで支援をしなければならぬ利用者が多いと職員数が足りない。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	バリアフリーにはなっていないが、移動に支援が必要な方にはマンツーマンで対応している。玄関に段差がある。	フラットな環境にするのが難しい箇所もあり、ケガにつながらないように配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		建物は新しくないが常に掃除をして清潔にしている。 毎日、掃除を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		研修、振り返りを行っている。職員間で話し合っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		現在、実施していないが、必要に応じて、実施も視野にいれていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修を行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		月の活動内容を公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		面談を行い、計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		常に職員間で共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員全員で話合っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		重ならないよう話し合っている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		利用者の状況、様子を見て支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼、昼礼を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	次の日には行っている。	送迎の到着時間に差が出るため、翌日には必ず良かった点も含めて報告の時間を設けている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		気付きの報告、ヒヤリハットの報告を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		一人一人の発達状況に合わせた活動を心がけている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	地域の中学校への進学のみ。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		研修を受ける機会が少なかったため、今後検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	交流の機会がないが、交流の機会を設けることは難しいと思う。	保護者の意向や本人にとってのメリットを考慮し、機会を設定するかどうかを検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		子ども支援部会の放課後等デイサービス連絡会に毎回参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		ポスターの掲示等でお知らせしている。		
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		面談を実施している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	年1回交流の機会がある。 年1回、交流会を実施しているが十分ではないと感じている。	アンケート等を実施し、ニーズに合わせて検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月1回インスタグラムに投稿している。 毎月の予定を前月中半には通知している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	これから回覧板を活用していく予定。 ゴミ拾いの実施。	事業所での取り組みの内容を、地域で閲覧される回覧板等を使って、広めるようにする。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			定期的に行われる委員会の集まりに参加している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	意思の指示書に基づいているかは不明。 現在、食物アレルギーの利用者は1名のみで保護者とのやり取りのみである。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			法人内での安全衛生計画とも連動し、お子さんも職員も安全に安心して過ごせる環境を作るよう意識している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待研修を毎年実施している。	委員会実施の研修、児童部門実施の研修に参加し、必要な知識を身につけるようにしている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				